



南中だより

令和6年10月2日発行

東久留米市立南中学校

〒203-0021 東久留米市学園町 2-1-23

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

校長 若澤 直樹

修学旅行で付ける力

自分たちのまちを考え、自分と社会の幸せを考える



鹿と恐々

9月19～21日、残暑の中3年生が奈良と京都へ修学旅行に行っていました。例年でしたら涼しさも感じられる時期でしたが、今回は京都の方たちも口々にこんなに暑いのは特別だと話されていました。熱中症対策で旅行中は保水や体調の管理にも大変神経を使う毎日でした。

2日目の班行動では経口補水液のパックを各班に持たせ、「これはお守り。これを使わなくて済むように、水分補給をしてください。そしてこの補水液を使う時は本部に連絡を。その後の対応は電話で指示するからね」と送り出しました。

心配していた中、お昼ごろ生徒から教員の本部に連絡が入りました。各班についてくださっていたガイドさんが行動中に具合が悪くなったようだと連絡でした。大変心配しましたが、実は心配りのできる生徒達が高齢のガイドさんの様子を心配しての念のための連絡だったそうで、その後はガイドさんも回復し大丈夫との報告が入り、全部の班が無事に2日目班行動を終えることができました。



ガイドさんと宿を出発



暑いけど元気を出して

京都の暑さを体感しながらの班行動になりましたが、交通機関の混雑も各班についてくださったガイドさんの的確なアドバイスで回避し、現地のスペシャリストならではのガイドブックには載っていないようなたくさんの興味深い情報を教えてもらいながらの活動は、昔のクラス行動だけの修学旅行とは比べられない深い学びのあるものになったと思います。

修学旅行の費用は交通費や様々な物価の影響で値上がりしており、この行事も費用対効果を考えなくてはならない活動の一つです。費用の内容については業者選定のためのプロポーザルの段階から切り詰められる部分がないか検討しております。現1年生の2年後の修学旅行についてもプロポーザルには学年のPTAの方にも参加していただき、検討を進めていきますが、一方で教育活動としての内容を深め、子どもたちに思い出だけではなく、貴重な経験からの感性を磨く機会と自身のアイデンティティを培う活動としての価値を高めることも大切です。

南中学校では修学旅行の事後学習として昨年度から、「京都・奈良のまちづくりから考える東久留米のまちづくり」を大きなテーマとして取り上げています。観光を柱としたまちづくりを体験しその課題も感じてきたところで東久留米のこれからのまちづくりを考えていこうという学習です。

この学習で身近な社会を広い視野で考え、それを自分事として発信する経験をすることで、自分の幸せな環境と未来像のために自ら主体的に関わっていく力と自己肯定感を育てたいと考えています。

10月19日の学校公開では3年生は各クラスでのこの事後学習の発表会を計画しています。ぜひご覧いただければと思います。

南中学校体育館に避難所が開設されました

8月の終わりに日本列島を襲った台風10号は、台風の動きが遅かったことに加え、台風の周辺や太平洋高気圧の縁をまわる暖かく湿った空気の影響で、西日本と東日本の太平洋側を中心に各地で記録的な大雨をもたらしました。東久留米市でも大雨が降り続いたことによって地盤が緩み、土砂崩れの発生が懸念されたため、市内4箇所の学校に避難所が開設されました。



今年の5月に東久留米市防災課の方々が、体育館を使用した避難所の設営訓練を行っていた為、緊急を要する中での避難所の設営でしたが、混乱することなく迅速に設営することができました。まさかこんなに早く訓練の成果が発揮されるとは思っていませんでしたが、本番のように訓練することの大切さを痛感する機会となりました。

今年度南中学校では、例年9月に実施していましたが、地域参加型防災訓練として10月末に実施する予定です。石川県で起こった豪雨災害など、突然発生する線状降水帯による被害が増えています。いざというときに慌てず落ち着いて行動できるように、日頃から防災への意識を高め、命を守る行動を心がけていきましょう。

<南中生の活躍>

○ 合唱部 第91回NHK全国学校音楽コンクール 東京都コンクール 予選B 銀賞

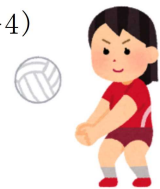
○ サッカー部 東京都中学校サッカー選手権大会 2回戦進出

第19回東久留米市中学校スポーツ大会

○ サッカー 優勝



○ バレーボール 優勝
優秀選手賞 佐藤 花(2-3)・高野 花帆(2-4)
木村 咲希(2-5)



○ バasketボール男子 準優勝
優秀選手賞 田中 陽真(2-5)



○ バasketボール女子 準優勝
優秀選手賞 池上 歌映(2-1)



○ 卓球 団体戦 第3位
シングルス 1年 第1位 小林 春輝(1-2)

○ バドミントン 男子 団体 1年 第2位
2年 第3位
ダブルス 2年 第3位 本郷 樹(2-3)・金丸 拓己(2-4)

○ バドミントン 女子 団体 1年 第3位
2年 第3位
シングルス 第3位 菅井 優(2-1)
ダブルス 1年 第3位 真田 結衣(1-1)・本間 莉菜(1-3)

